

第1回 学校運営協議会記録

令和5年6月27日開催

司会：藤井

記録：坂根

1. 開会の言葉

2. 学校運営協議会委員委嘱・任命

- ・教育委員会牛田さんより委員9名の任命状の交付

3. 大阪狭山市教育委員会あいさつ

- ・今年度より南第二小学校区のコミュニティスクールがはじまる
- ・社会教育グループと学校教育グループとで協力して進めていく
- ・地域学校協働推進員として西尾さん
- ・地域学習カリキュラムを作成し、来年度から本格的に実施していく

4. 委員紹介(自己紹介)

丸山(南二小PTA会長)

南川(「ふきのとう」代表)

横山(主任児童委員)

北井(元大阪狭山市立学校教員)

西尾(地域学校協働活動推進員)

松浦(太成学院大学准教授)

西川(南第二小学校校長)

藤井(南第二小学校教頭)

坂根(南第二小学校首席)

5. 学校運営協議会規則・規定の説明

- ・学校運営協議会規則 2条、4条、5条、7条、8条、10条
- ・学校運営協議会規定 7条、8条、10条

6. 会長及び副会長の選出

- ・会長に南川さん、副会長に松浦さんを選出

7. 事務局について

- ・事務局長に西尾さん、事務局次長に藤井さん

8. 学校運営の状況について

- ・令和5年度 教育の基本方針の確認
- ・今年度は特に人権教育とコミュニティスクールの推進
- ・人権教育については、子どもたちどうしのつながりを持つことが難しくなっている。教職員も一緒に学びながら進めていく。校内支援委員会を設置、互いの違いを認め合い、市のいじめ防止基本指針に従い、安全安心な学校づくりを行う。
- ・コミュニティスクールについては、今年度、学校運営委協議会がスタートした。かつては学校に自由に出入りでき、地域の人とのふれあいが自然と行っていた。最近では、周辺事情により、子どもたちと地域の人が通じ合えなくなっている。今は、地域から子どもたちへの支援を中心に行っているが、今後は子どもたちが地域と関わる取り組みを考えていきたい。
- ・学力向上プランについて
- ・教育基本方針については異議なく承認。

9. 地域学校協働推進員の取組みについて

- ・先生方の要望に応じて何が必要か考えているところ。
- ・子どもたちがぶどう畑、田植えの見学に行った際の質問の多さに驚いた。とても興味をもっていることが分かった。書物から興味をもつことも大切であるが、実際に見て興味を持つことが、良い経験となりスキルアップにつながると感じた。
- ・子どもたちから様々な方向性の質問があり、どんな返答をすればよいか苦慮した場面もあった。
- ・子どもたちが経験に飢えていると感じた。
- ・地域の人がかつ豊富に経験を子どもたちに披露する場を作れたらと考えている。
- ・農作業の見学をお願いする際に、どの時期にどのような作業をするかを把握して、間を見てほしいないといけなかったと感じた。作業の流れから、特定の日にしかできない作業もある。
- ・大野では製造業などの工場が少なく、見学に行くとなると、移動にバスなどを使う必要が出てくる。1クラスずつ分かれていくなどの配慮をしなければいけない。
- ・夏休み期間中も何かしらお手伝いできることがあればと考えている。
- ・50周年行事に向けて、協議会の中で案があれば出してほしい。餅まきとマジックショーができればと考えている。

10. 南第二小学校の学校運営協議会の取組みについて

- ・昔は身の周りに普通にあって、体験学習を子どもたちにさせてあげたい。
- ・子どもたちは意欲をすごく持っている。
- ・50周年行事は、学校としてはこれまでの50年とともに、これからの50年を展望する

ものにしたい。そのために子どもたちが主体となって考え、南二小の校区への強い思いを持つようになり、将来的に帰って来たいとおもえるようになってほしい。

→航空写真を撮る予定で、そのデザインを子どもたちが考えてもらっている。撮影は土曜参観の日に地域の人や保護者、卒業生も入って撮影をしたいと考えて日程を交渉している。

→50周年記念マスコットキャラクターも子どもたちが考えている。

→自分たちの町のことを考える取り組みとして、SDGsの取り組みも行う。自分たちに何ができるかを考える。

→PTAには記念誌の作成をお願いしている

- ・今後、子どもたちが楽しいと思えることを考えていきたい。

- ・子どもたちの応援とともに、地域に対して何ができるかを見出していきたい。

- ・運動会などについても苦情がでるときがあるが、内情が理解されていない部分もあるのではないか。

11. 事務連絡

- ・次回は9/28(木) 18:00~

- ・封筒内の書類 マイナンバー個人番号の提出のお願い(必要な方のみ)必要事項を記入して南二小へ持ってくる

12. 閉会の言葉